

報告、ついで 4-6 歳の 2 回目のワクチン接種に関する問題、1 回しか受けていない 7-12 歳の子どもの扱い、中学校・高校・大学入学時のワクチン接種の要望 (school-entry requirements)、感受性者に対するワクチン接種のプログラム、妊婦に対するワクチン接種の問題、HIV 陽性児のワクチン推奨プログラムの改訂案、ワクチンの保存と取り扱いに関する問題、成人のワクチン・スケジュールの改訂案、水痘帯状疱疹ワクチンの治験結果、成人の Tdap について (成人に百日咳の疫学)、ヒト・パピローマ・ウイルスについての概説・子宮頸癌・ワクチンの効果対費用について、パンデミック時のワクチンの優先順位についての調査結果、インフルエンザに対する保健従事者のワクチン接種についての ACIP (アメリカ)・HICPAC (イギリス) 合同会議報告、ロタウイルス・ワクチンの開発状況について、HIV ワクチンの開発の現状について、などである。このうち ACIP メンバーに投票を求められた議案は 10 議題にのぼった。

ここに挙げられた 25 の課題は、実はわが国で議論されてもおかしくないものばかりであった。わが国では国立感染症研究所がアメリカの CDC/NIP に相当する役割を担うことになるだろうが、CDC/NIP では個々の課題について上記の NIP 7 項目のミッションを行うためそれぞれの課題に対して約 200 名の職員が関わっている。一方、国立感染症研究所にはこの役割を果たすためのシステム構築はいまだ達せられていない。今後の充実が望まれる。

F. 結論

ワクチン政策は、小児医療の側からは将来を担う子どもの健全な発育を保証する方

法である。他方、国家的見地からは国の危機管理の重要な方法のひとつと考えられる。ACIP に国防総省の代表が出席していることから判る。またウイルスや細菌の流行状況は時々刻々変化しているのが常態で、ワクチン・スケジュールも疫学的調査結果や新ワクチン開発をもとにつねに変更を加えていく必要がある。またワクチン・スケジュールの確定は、予算措置との関連もあるので「公」が行うとしても、「民」の現場の知恵が生かされないと実施は困難である。したがってわが国にも ACIP と同様のシステムが必要であることは明らかであるが、議論の土台となるさまざまな調査活動を行うシステムがわが国には存在しない。流行情報については感染症サーベイランスがわが国では一定の機能を果たしているが、ワクチンに関する NIP の総合的な調査活動からみるとわが国のそれは単に全体の一部を形成するだけである。以上より、今後のわが国のワクチン対策を充実するためにはどのようなシステムを構築すべきかをまず議論し、その結果を基礎として ACIP の概念に一致するシステムを構築すべきであると考えられる。ACIP の概念とは、「官」と「民」とが同等の立場でわが国のあるべき予防接種の在り方について協議を行い、その予備的治験を実施し、その効果・副作用について検討・管理を行い、さらに広範な調査を行った上でワクチン・スケジュールを設定していく機関である。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
庵原俊昭	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	山崎修道、他編	感染症予防必携 第2版	(財)日本公衆衛生協会	東京	2005	436-438
庵原俊昭	ムンプス	寺田喜平編	実践予防接種マニュアル	中外医学社	東京	2005	128-137

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
加藤昌弘, 川戸美由紀, 世古留美, 橋本修二, 岡部信彦	予防接種の接種月齢, 接種順と接種完了率	日本公衆衛生雑誌	53(2)	105-111	2006
Hashimoto S, Kawado M, Seko R, Kato M, Okabe N.	Bias of vaccination coverage in a household questionnaire survey in Japan.	J Epidemiol.	15(1)	15-19	2005
高山直秀, 崎山弘, 岡部信彦, 平山宗宏.	結核予防法改正前の全国BCGワクチン累積接種率.	日本小児科学会雑誌.	110(1)	14-16	2006
岡部信彦	日本脳炎ワクチン問題その背景	ウイルス.	55(2)	303-306	2005
岡部信彦	提言 予防接種(麻疹・風疹)の変更, およびそれに関連する麻疹・風疹ワクチン勧奨と接種控えの問題について	小児科診療	68(12)	2445	2005
多田有希, 岡部信彦	【新しい臨床ウイルス学】ウイルス感染症 現状と進歩 ウイルス感染症の動向 感染症サーベイランスによる動向把握	小児科診療	68(11)	1983-1991	2005

岡部信彦	学校／幼稚園保育園等での感染症対策，登校登園停止など	小児科臨床	58(9)	1929-1934	2005
岡部信彦	学校におけるリスクマネージメント感染症対策	日本医師会雑誌.	134(4別冊)	32-36	2005
多田有希，岡部信彦	【感染症トピックス】 風疹 なぜ再び問題に	小児科	46(4)	497-505	2005
斉藤若奈，永井英明，鈴木純子，益田公彦，田村厚久，長山直弘，赤川志のぶ，川辺芳子，町田和子，倉島篤行，四元秀毅，斉藤剛，新井智，岡部信彦	慢性呼吸器疾患患者における 23 価肺炎球菌ワクチン接種前後の血清型特異抗体濃度の検討	日本呼吸器学会雑誌	43(5)	277-282	2005
神谷 齊	我が国の予防接種の現状と問題点	臨床と微生物	32(5)	431-435	2005
神谷 齊	これからの予防接種	小児感染免疫	17(4)	335-340	2005
神谷 齊	α ヘルペスウイルス感染症の治療と予防	日本臨床	64(3)	321-325	2006
Okafuji T, Yoshida N, Fujino M, Motegi Y, Ihara T, Ota Y, Notomi T, Nakayama T	Rapid diagnostic method for detection of mumps virus genome by loop-mediated isothermal amplification.	J Clin Microbiol	43	1625-1631	2005
庵原俊昭	ワクチンによる免疫療法 —おたふく風邪ワクチン (ムンプスワクチン)	日本臨床	63	s 612- s 616	2005
庵原俊昭	おたふくかぜワクチン	臨床と微生物	32	481-484	2005
庵原俊昭	ウイルス感染症の診断	小児科診療	68	1992-1999	2005
増田佐和子，中野貴司，神谷齊	小児急性中耳炎の薬剤耐性肺炎球菌と臨床像	耳鼻臨床	97(1)	15-19	2005

中野貴司	抗菌薬療法の国際標準とわが国の現状.	小児内科	37(2)	158-163	2005
中野貴司	水痘の母子感染と対策	産婦人科治療	90	600-604	2005
中野貴司	水痘感染における免疫機能低下の評価と対策	小児内科	37(6)	786-789	2005
生方 公子	呼吸器感染症原因微生物の質的变化による薬剤耐性化	日本化学療法学会雑誌	54	69-94	2006
N. Chiba, R. Kobayashi, Hasegawa, M. Morozumi, E. Nakayama, T. Tajima, S. Iwata, K. Ubukata	Antibiotic susceptibility according to genotype of penicillin-binding protein and macrolide resistance genes, and serotype of <i>Streptococcus pneumoniae</i> isolates from community-acquired pneumonia in children.	Journal of Antimicrobial Chemotherapy	56	756-760	2005
N. Chiba, R. Kobayashi, K. Hasegawa, M. Morozumi, E. Nakayama, T. Tajima, S. Iwata, K. Ubukata	Antibiotics against <i>Streptococcus pneumoniae</i> with recombinant penicillin-binding protein genes from a penicillin-resistant strain.	Journal of Infection Chemotherapy,	11	107-111	2005

K. Maeda, T. Ida, Y. Sanbongi, M. Kurazono, M. Yonezawa, K. Ubukata, and M. Inoue	Comparison of activities of beta-lactam antibiotics against <i>Streptococcus pneumoniae</i> with recombinant penicillin-binding protein genes from a penicillin-resistant strain.	Journal of Infection Chemotherapy	11	107-111	2005
生方 公子	憂慮される耐性菌の増加	小児科診療	68	2319-2325	2005
生方 公子	薬剤耐性に関する遺伝子解析	日本臨床	63	413-417	2005
砂川 慶介, 野々山 勝人, 生方 公子, 他	本邦における小児化膿性髄膜炎の動向 (2003～2004)	感染症学雑誌	80	27-38	2005
Kubota, T., N. Yokosawa, S. Yokota, N. Fujii, M. Tashiro, and A. Kato.	Mumps virus V protein antagonizes interferon without the complete degradation of STAT1.	J. Virol.	79	4451-4459	2005
Kidokoro, M., M. Tashiro, and H., Shida.	Genetically stable and fully effective smallpox vaccine strain constructed from highly attenuated vaccinia LC16m8.	Proc. Natl. Acad. Sci. USA,	102	4152-4157	2005
Saha SK, Baqui AH, Darmstadt GL, RuhulAmin M, Hanif M, Arifeen SE, Oishi K, Santosham M, Nagatake T, Black RE.	Invasive <i>Haemophilus influenzae</i> type b diseases in Bangladesh, with increased non-susceptibility to antibiotics—urgent need for Hib vaccine program.	J. Pediatrics	142	227-233	2005

Motomura K, Masaki H, Terada M, Onizuka T, Furumoto A, Asoh N, Oishi K, Nagatake T.	Usefulness of the Japanese Respiratory Society guidelines for community pneumonia : a retrospective analysis of community-acquired pneumonia between 2000 and 2002 in a general hospital.	Respirology	10	208-214	2005
Watanabe H, Kaji C, Anh DD, Huong PLH, Anh NTH, Huong VT, Phuong HVM, Thi PT, Suu PT, Nguyet NTT, Rusizoka OS, Watanabe K, Nagatake T, Oishi K.	A comparative molecular analysis of <i>Haemophilus</i> <i>influenzae</i> among children less than 5 years of age with acute lower respiratory tract infections and meningitis in Hanoi, Vietnam.	J Clin Microbiol,	43	2474-2476	2005
Watanabe H , Hoshino K, Sugita R, Asoh N, Guio H, Qin L, Kaji C, Watanabe K, Oishi K, and Nagatake T.	Molecular analysis of intrafamilial transmission in <i>Moraxella catarrhalis</i> .	Int J Med Microbiol	295	187-191	2005
Oishi K, Yoshimine H, Watanabe H, Watanabe K, Tanimura S, Iwagaki A, Nagai H, Goto H, Kudoh S, Kuriyama T, Fukuchi Y, Matsushima T, Shimada K, MatsumotoK, Nagatake T.	Drug-resistant genes and serotypes of pneumococcal strains of community-acquired pneumonia among adults in Japan.	Respirology.			2006. in press

Qin L, Watanabe H, Yoshimine H, Guio H, Watanabe K, Kawakami K, Iwagaki A, Nagai H, Goto H, Kuriyama T, Fukuchi Y, Matsushima T, Kudoh S, Shimada K, Matsumoto K, Nagatake T, Oishi K.	Antimicrobial susceptibility and serotype distribution of Streptococcus pneumoniae isolated from patients with community-acquired pneumonia and molecular analysis of multidrug-resistant serotype 19F and 23F strains in Japan.	Epidemiol. Infect				2006. in press
大石和徳	肺炎球菌ワクチン-5年後の再接種の是非-	呼吸器科	8(1)	68-72		2005
大石和徳	細菌性肺炎（肺炎球菌性肺炎を中心に）	日本内科学会雑誌.	94(11)	2256-2260		2005
大石和徳	肺炎球菌性肺炎とその対策	臨床と研究.	82(12)	1983-1986		2005
多屋馨子, 馬場宏一, 佐藤弘, 上野久美, 安井良則, 新井智, 奥野良信, 岡部信彦	感染症緊急提言 改正麻疹・風疹ワクチンはどう変わるか	小児科臨床	58(12)	I-VII		2005
多屋馨子	予防接種に関する最近の話題.	臨床と微生物.	32(4)	390-392		2005
多屋馨子, 岡部信彦	わが国における感染症の現状.	産婦人科治療	90増刊	469-476		2005
多屋馨子	わが国における風疹予防接種の歴史と今後	チャイルドヘルス	8(9)	643-648		2005
越田理恵, 川島ひろ子, 中村英夫, 渡部礼二, 西田直巳, 成田光生, 谷内江昭宏	大学での成人麻疹集団感染と緊急ワクチン接種による流行阻止	日本小児科学会雑誌	109	351-358		2005

菅原民枝,大日康史, 及川馨,羽根田紀幸, 菊池清,加藤文英, 山口清次,岡部信彦	水痘ワクチン定期接種化 の費用対効果	日本感染症学 雑誌	80 (3)	212-219	2006
佐合治彦, 鈴森 薫, 上原茂樹, 奥 山和彦, 三春範夫, 種村光代, 山中美 智 子 , 平原史樹	わが国における出生前診 断の動向 (1998~2002)	日本周産期・ 新生児医学会 雑誌	41 (3) 別刷	561-564	2005
平原史樹	先天性風疹症候群 (CR S)	日本産婦人科 医会報	57 (3)	10-11	2005
平原史樹	胎児異常	産婦人科の実 際	54 (11)	1699-1704	2005
横田俊平、多屋馨 子、岡部信彦	米国「予防接種の実施に 関する諮問委員会 Advisory Committee on Immunization Practices(ACIP)につい て-わが国の予防接種プ ラン策定に新しいシステ ムの導入を-	日本小児科学 会雑誌	110(6)	756-761	2006